

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
法人 A	常時5名	神奈川県三浦市	農業経営の法人化, 労務環境の整備	専門家派遣回数 6回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は、家族経営で露地野菜(大根、キャベツ、スイカ、キュウリ等)の生産と大根の加工を行う6次産業化を実施している。

今春、後継者候補が就農したため、規模拡大と社会的信用の向上のため法人化を相談。



■現状課題等

- 相談者は、三浦半島において露地野菜を江戸時代から200年以上作り続けているが、後継者が就農したことから次世代に外部からの雇用もできる安定した経営を引き継ぎたいと考えている。
- A農園が製造している三浦の浅づけたくあん「まいんど」は、かながわブランド登録品となっており、売上に大きく貢献している。
- 売上金額、農業所得ともに良好であるが、労働力が家族労働5人であるため、さらなる規模拡大には、雇用と農地の確保が必要である。

支援体勢・改善提案 (問題解決方法)

■支援内容

1 支援チームの編成

税理士1人、社会保険労務士1人、普及指導員1人、農業会議1人 計5名

2 支援内容

(1) 中小企業診断士による経営分析

青色申告の過去3年分の決算書から、複式簿記及び所得規模を確認し、経営分析を実施

(2) 税理士による法人設立支援

- 法人化のメリット・デメリットを説明して、家族間の合意を形成
- 都市近郊で土地評価が高いため、譲渡税を試算して、相続税納税猶予の有無を確認し、法人に農地を現物出資するか賃借するかを検討
- 減価償却資産を、会社に譲渡するか賃借するか、キャッシュフローから検討
- 定款の作成支援
- 設立に向けた提出書類の説明
- 資本金払込、登記等、開業に伴う手続等の説明

(3) 社会保険労務士による就業規則の作成支援

- 雇用に向けた労務管理のポイントを説明
- 就業規則の作成を支援

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

税理士の丁寧な説明により、相談者自らが定款を作成し法人設立の目処が立ち、家族を交えて法人化のメリット・デメリットの説明を税理士及びコーディネーターから受け、家族間の合意を得て、法人化を実現。

社会保険労務士の助言・指導により就業規則を作成できたため、今後、規模拡大を図り、必要に応じて外部から従業員を確保する予定。

また、普及組織で専門家の支援終了後も引き続き相談者に対する技術・経営支援を実施していく予定。



■コーディネーター所感

法人化により、経営理念や家族内の役割分担を明確にすることができ、雇用や規模拡大に有効な社会的信用の向上が図られた。

三浦半島は、ダイコン・キャベツの全国的にも有数の大産地であり、後継者が多い地域であるが、家族経営の個人事業者が多いため、本事例を法人化により後継者へ次世代継承につながる事例として、地域へ波及させていきたい。